

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年7月

施設名	高知県立県民文化ホール	所管課室	文化・国際課
-----	-------------	------	--------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
施設所在地	高知市本町		
事業内容	県民の明るく豊かな文化生活の向上に寄与するための文化事業の実施、及び音楽、演劇その他の催しのための場の提供を行う。		
施設内容	面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など <建物>延べ床面積: 11,842.77㎡ 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)地下1階地上4階 <土地> 5,288.15㎡ <主要施設> 大ホール(1504席)、小ホール(500席)、楽屋、リハーサル室、多目的室など <開館時間> 午前9時～午後10時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> ホール・多目的室は午前・午後・夜間・全日の別で料金設定		
職員体制	常勤職員: 6人 契約職員: 3人 合計: 9人		

2 収支の状況

単位:千円

		平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(予算)
収入	県支出金	98,149	117,244	121,317
	事業収入	60,601	98,684	94,122
	その他	1,033	1,506	1,610
	収入計	159,783	217,434	217,049
支出	事業費	0	8,248	9,537
	管理運営費	146,324	201,466	197,669
	(うち人件費)	(45,605)	(51,228)	(47,894)
	その他	13,858	7,967	9,843
	支出計	160,182	217,681	217,049

注 平成18年度は4月から10月までの休館期間がある。

3 利用状況

	平成18年度実績 1	平成19年度実績	前年度比
年間利用者数(単位:人) 1) 4月から10月まで休館	大ホール入場者数 90,360人	213,320人	122,960人
	小ホール入場者数 26,945人	50,433人	23,488人
	合計 117,305人	263,753人	146,448人
	<利用実績> 平成18年度は改修工事のため4月から10月まで休館しており、通常の予約受付ができないという特殊な事情があったが、再開後は概ね順調に利用され、平成19年度は対前年比44.5%増となっている。ただし、平成17年度以前の利用率には回復しておらず、年間利用者数は減少傾向にある。原因としては、改修のための休館による影響があるが、その他にも景気の悪化や主催者の高齢化による催事の減少などが挙げられる。また、利用率アップの課題がある多目的室については、マイク等附帯設備を充実するなどの利便性を高めるとともに、チラシを作成し県内各施設などに配布し、周知に努めた。その結果、延べ624件の利用があった(18年度は10月20日から3月31日まで半年弱で延べ79件の利用)。		
利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・オレンジホール及びグリーンホールのロビーにそれぞれ「ご意見箱」を設置し、利用者の意見を広く収集している。寄せられた意見に対し、すぐに対応できるものから改善のための対策を行っている。		
	その他 ・利用者による運営協議会(年2回)や県内のホール担当者による文化施設協議会(年3回)で文化ホールに対するニーズを把握して、要望については検討のうえ対応している。		

その他特記事項	貸館の外、他ホールや学生に対する技術支援を実施。 ・技術職員派遣研修 室戸市保健福祉センター6回 田野町ふれあいホール5回 佐川町桜座10回 院内コンサート4回 ・県民文化ホールでの技術研修4回 ・高校演劇支援6回
---------	--

4 平成18年度業務評価

項 目	状 況 説 明
管理運営に関する評価	<p>古い施設を丁寧に使っている。長期にわたり事故がないことは適正な管理が継続してなされている証拠であり評価できる。</p> <p>・昭和51年に建てられた施設を適切な修繕、管理を行うことで事故もなく運営されていることは評価できる。</p>
事業の実施(企画及び運営)に関する評価	<p>・継続事業はそれぞれ意義のあることだが、マンネリに陥らないようにアイデアを出し合い、新しい取り組みも加えながら事業展開することを望む。</p> <p>・予算の制約はあるが、集客の見込める魅力ある事業を選定する必要がある。</p> <p>・自主企画事業で集客力の弱い企画は、チケットの販売方法について民間のノウハウを学ぶなど、研究してもらいたい。</p> <p>・長年蓄積したノウハウを活かした技術支援活動は評価できる。今後も県内のホールの牽引役として活動を継続してもらいたい。</p> <p>・高校生への技術指導や、高知医療センターの院内コンサートへの協力は評価できる。</p>
総体的な評価	<p>・平成18年の改修のための休館は、やむを得なかったとしても、その影響により平成17年以前の稼働率に回復せず利用者数が減少し、残念な結果となった。</p> <p>・限られたスタッフの中で難しいところもあるかもしれないが、より一層の努力を望む。</p>
総合評価	<p>・平成22年の改修後の事業に期待する。</p> <p>・常連利用者のホール施設・設備の評価に安住することなく、より良いホールを目指して今後の機能向上を望む。</p> <p>・県民文化ホールの役割は、県民が優れた芸術文化を鑑賞する場であることと、県民の芸術文化活動の場(芸術創造者の育成・支援等)であることと考える。ホールは日常生活の延長にあるのではなく、非日常性の演出が必要になる。施設の機能やデザインが良くなければ人は来ないので、改修工事はそれを踏まえて行うことを望む。</p> <p>・県庁前という高知市の中心部にあるランドマークとして、その有利さを活かした運営を望む。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

評価項目ごとの評価内容

県立文化施設指定管理者事業評価シート(平成19年度事業)

施設名	高知県立県民文化ホール	
評価項目	評価	特記事項
1 管理運営の基本方針（総括）	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年の改修のための休館は、やむを得なかったとしても、その影響により平成17年以前の稼働率に回復せず利用者数が減少したことは残念なことである。 限られたスタッフの中で難しいところもあるかもしれないが、より一層の努力を望む。
平成19年度の県民文化ホールの管理運営（事業）にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。		
平成18年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。		
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	B	<ul style="list-style-type: none"> 継続事業はそれぞれ意義のあることだが、マンネリに陥らないようにアイデアを出し合い、新しい取り組みも加えながら事業展開することを望む。
(1) 貸館事業の実施	B	
<ul style="list-style-type: none"> ホール及び多目的室の利用状況 貸館事業についての特記事項 		
(2) 企画事業の実施	B	<ul style="list-style-type: none"> 予算の制約はあるが、集客の見込める魅力ある事業を選定する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 企画事業の実施回数、内容、集客目標と入場者数等の状況 企画事業についての特記事項 		
(3) 教育普及事業その他の事業	A	<ul style="list-style-type: none"> 長年蓄積したノウハウを活かした技術支援活動は評価できる。今後も県内のホールの牽引役として継続してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 県内の文化施設を牽引する取組 その他主催者等に対する技術支援 		
(4) 事業を通じた創造活動・文化振興の支援	B	<ul style="list-style-type: none"> 高校生への技術指導や、高知医療センターの院内コンサートへの協力は評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが芸術文化に親しみ感性を育む取組 高齢者や障がい者が利用しやすい取組 芸術家や舞台芸術等の創作活動を支援する取組の状況 地域の文化活動との連携・支援 		
(5) 県民の視点にたった運営		
<ul style="list-style-type: none"> 県民文化ホールの活動や芸術文化についての情報提供 県民参加の活動 県内の文化施設との連携 		
3 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	B	<ul style="list-style-type: none"> 貸し出し時間帯の柔軟な対応など貸館サービスの充実を望む。
(1) 経営努力	B	<ul style="list-style-type: none"> 自主企画事業で集客力の弱い企画は、チケットの販売方法について民間のノウハウを学ぶなど、研究してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 収入増加の取組 経費縮減の取組 		
(2) サービス向上への取組	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後、喫茶店が館の催し物関連の利用者だけでなく広く活用されるような仕組みを考えてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 自己点検・評価の状況 事故、クレームへの対応 職員の専門性の向上 その他のサービス改善事項 		

4 施設及び設備の管理は適正に行えたか		B	・古い施設を丁寧に使っている。長期にわたり事故がないことは適正な管理が継続してなされている証拠であり評価できる。
(1) 建物や設備の管理状況		A	・昭和51年に建てられた施設を適切な修繕、管理を行うことで事故もなく運営されていることは評価できる。
点検・修繕の実績 第三者への業務委託の状況			
(2) 危機管理		B	
(風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)			
総合評価		〔評価委員の意見〕	
B		<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年の改修後の事業に期待する。 ・常連利用者のホール施設・設備の評価に安住することなく、より良いホールを目指して今後の機能向上を望む。 ・県民文化ホールの役割は、県民が優れた芸術文化を鑑賞する場であることと、県民の芸術文化活動の場（芸術創造者の育成・支援等）であることと考える。ホールは日常生活の延長にあるのではなく、非日常性の演出が必要になる。施設の機能やデザインが良くなければ人は来ないので、改修工事はそれを踏まえて行うことを望む。 ・県庁前という高知市の中心部にあるランドマークとして、その有利さを活かした運営を望む。 	

評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する